

年頭のことば

新春随想

社長 加藤 陽 一

皆さん、新年お目出とうございます。

年の始めですから基本となることを考えて見たいと思います。私達が新しい年を迎えて何か楽しく考えますが、何が一体楽しいのでしょうか。新しい年には希望があり未来があります。希望をもたない立場にある人には恐らく新年という言葉はないでしょう。

希望と健康とは我々の生命の重要な要素ではないでしょうか。希望は精神的なもので、酵素の如く活力となって無形の力を我々に与えてくれます。新年を私達は希望をもって出発しましょう。

もう一つの健康は肉体的なものと思われる勝ちですが、精神と一体の大切なものである事は皆さんが良くご存知の事です。近頃マイホームという言葉が流行し、世上で可

否を論議されています。孔子さまは衣食足りて礼節を知ると申されましたが、大切な住を一つ落されましたね。人の世は泰平を願ひ、平和の中心にはマイホームが有ります。

しかしマイホームの中心は身勝手のようにすが自己であり、自分の健康である事を忘れてはなりません。マイホームは先づ自分の健康から始まります。

マイホームにのみ沈没し過ぎると、自分だけの事を考え過ぎて周囲との接触も減り調和も欠いて人間のスケールも小さく成りがちです。友がみな我にまさりてみゆる日よ、花を買い来て妻と親しむ―啄木―の境地まで縮小均衡するのは青春の抱らない処です。腕を伸してマイホームからマイ小社会までは是非とも伸びたいと思います。

マイ小社会とは自分の住む町村、周囲、親戚、友人、自分の勤務するマイ会社などです。之等はマイホームのバックで互に援助し合つて完成に進んで行くもの、而も身近の努力で少しづつでも効果が稔り報いられるものです。

私は皆さんがマイホームの計画と共にマイ会社まで進んで考えて欲しいと思います。

マイ会社ではどう考えれば良いでしょうか。色々難しい理論や技術も有りましょうが、根本の原理は簡単なたとえでも表わせない事は有りません。

マイ会社もマイホームと同じく希望と健康です。会社全体を人間の身体と考えて、希望と健康を持つようにする事です。そして会社の構成分子である私達の役割は会社



の耳目手足として自分の受持ちの役目をはたし、互に神経を通わせ連絡し協力して行動する事です。つまり自分がマイ会社の目の役と思つた時は身体の目の働きを考えて見ると自分の動き方が良くわかると云う事です。難問にて考処にあまる事は身近な体内の出来事と考えると、解決方針はすぐにはわかりません。之は私の我流ですが分り易い方法と思っています。

やがて私達の力がマイ小社会から充実して来ればマイ大社会たる民族国家世界にも良い影響が少しずつ現れるでしょう。

自分自身↓マイホーム↓マイ民族↓マイ世界と自分自身の足元を確めながら、次第に大きい社会を良くしようでは有りませんか。

―希望と健康をもって―